



「タスケ三兄弟」

資料提供

令和元年5月13日
減災対策推進担当
担当者 三宅
内線 (2781)
直通 082-513-2781

「広島県『みんなで減災』一斉防災教室」の取材可能学校について

県においては、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」を展開しており、この一環として、毎年梅雨入り前の時期（5/13～6/6）に、県民の皆さんに、県が配布する教材を参考に、地域や職場、ご家庭などそれぞれの場所で、「土砂災害や洪水などへの備え」について学んでいただく、「広島県『みんなで減災』一斉防災教室」の取組を行っています。

このたび、次の中学校における防災教室を、是非とも取材いただきますよう、よろしくお願いいたします。

	日時	実施団体	実施内容
中学校	令和元年5月16日（木） 14:10～15:10	呉市立仁方中学校 (呉市仁方棧橋通16-8)	社会科授業「自然災害と防災への取組」平成30年7月豪雨災害を振り返り、地域のハザードマップを活用し、防災への意識を高める学習を実施。（2年生）

※「取材に際しての留意事項」については、裏面をご確認ください。

広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動とは

「災害に強い広島県」の実現を目指し、県民及び自主防災組織等が災害から命を守るために適切な行動をとることができるよう、県民、自主防災組織、事業者、行政等が一体となって取り組む運動です。

一斉防災教室について

1 ねらい

「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」の一環として、学校や企業、自主防災組織、行政機関等、それぞれの場所で、梅雨入り前までに県下一斉に「防災教室」に取り組み、教室に参加した県民が、自宅周辺や自らの地域の「災害危険箇所」、「避難場所」、「避難経路」及び適切な避難方法を知る。

2 実施方法等

- 県下全ての小・中・高等学校の児童・生徒に教材を配布し、防災に関する学習をするとともに、各家庭において、「避難場所」、「避難経路」を確認
- 防災関係機関や企業などに教材を配布し、各職場において、自宅周辺や通勤経路における「災害危険箇所」や「避難場所」の確認を促進
- 高齢者や主婦などを対象に、市町や地域の自主防災組織が主催する「防災教室」において教材を配布し、地域の「災害危険箇所」や、「避難場所」、「避難経路」を確認

3 実施期間

5月13日（月）～6月6日（木）＜梅雨入り前までに実施＞

○取材に際しては、前日までに下記の担当者に電話連絡し、来校の時間、人数をお伝えください。

	実施機関	担当者	電話番号
中学校	呉市立仁方中学校	亀崎 貞之 教頭	0823-79-1177

○来校されたら、受付窓口を通じて職員室へご連絡ください。

○取材に際しては、各社の社名入りの腕章等を装着するなど、報道機関であることを明示してください。

○生徒の学習等に支障がないように取材をお願いします。

○実際の撮影に際しては、各学校の指示に従ってください。

(参考) 過去の実施状況



安芸太田町立筒賀小学校 (H29. 5. 30)